

特 251

407

188

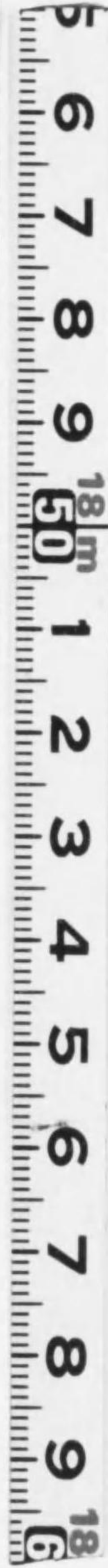
785

産業報國講演集(其の三)

職場と戦場

村田省藏述

産 業 報 國 聯 盟



始



特 251

785

はしがき

産業報國運動は今や官民一致の積極的努力によつて、極めて急速に全國家的な發展を遂げつゝあるのでありますが、本聯盟では尙一層その徹底を期するため此の運動に多大の情熱と卓拔せる識見とを有せられる諸名士の御講演集を刊行し、以て産業報國運動指導者の御參考に供する次第であります。

本書は昭和十五年二月十七日の大阪商科大学に於ける村田省藏閣下の御講演であります。

昭和十五年六月

はしがき

産業報國聯盟



職場も戦場

大阪商船株式会社々長
本聯盟参興

村田省藏述

學窓を巢立たれる諸君へ

私今日こちらへ参りまして、産業報國精神について話をせよと云ふやうな御注文があつたのであります。此の點に關しましては、御互の尊敬する河田學長が只今もあ話になつたやうに、既に産業精神については、各位に十分御話があり、さう云ふやうに教育をされて居られるのであります。只今の御話の中にも一端は窺はれるのであります。

従つて、私共の如く現場で働いて居ります者が、此の講堂に立つて、諸君に此の精

神を説くと云ふ事はどうかと思ひますが、私も丁度諸君と同じやうな生活をし、學校を卒業して何十年か同じ海運事業に従事して居ります。諸君も又卒業されて各違つた方面ではありまするが、産業人として立たれる事と思ひますので、何とかして諸君にも間違のないやうに、十分にお國の爲に努力し得るやうにと云ふ老婆心から、少し時間をお預りして、御話したいと思ふのであります。

日本産業の躍進

諸君の大部分は、聽て、御卒業になつて産業戦線に入られると思ふのであります。その前に、よく一つ考へて頂かなければならない事は、お互がよくも日本に生れて來たと云ふ事で、此の有難さ、この幸福さを十分考へて置いて頂きたいのであります。今更私が申上げる迄もなく、皇紀二千六百年の元旦に於て、恐らくは例外なしに諸君はその感じを持たれたと思ふのであります。二千六百年の歴史を有つて、皇統連綿と

續いて居るやうな國家は實際ないのであります。我々は此の立派な、金甌無闕の國に生れまして、その臣民となつて居る事は、何としても有難い事だと私は思ふのであります。殊に此の日本が御互の時代に於て、非常に飛躍的發展を致したのであります。二千六百年の歴史に於て、斯くの如き發展を致した事はないのであります。實に私は此の日本の發展振りは、史上稀に見る偉觀とすら考へるのであります。つい七十年前迄は、世界から忘れられて居た國が、今日は三大國の一つとして、世界に臨んで居ります。陸軍の強大さは申す迄もなく、海軍もさうであります。その他文化の上にも、教育の上にも、又經濟の上にも、實に非常な發展をなしたと思ふのであります。軍備や教育や文化はさて置いて、經濟の點から考へましても、恐らく諸君は此の點十分に習得になつたらうと思ひますが、非常な發展ぶりでありませう。先づ紡績はどうであります。此の紡績業は相當長い歴史を持つて居ります。此の間此の紡績に従事して居られる方は、非常な苦心をされたのであります。その結果我

四
が日本の紡績業と云ふものは、世界第一になりました。私共が學校に居りました時に、マンチエスターの紡績業を神様のやうに偉く思つて、中々これを見習ふ事も出来ないといふやうな事を先生から教はりました。今日に於てはマンチエスター糞喰へであります。又人絹の如きはどうかでありませう。ついで此の間迄、學校の先生で居られた久村さん、秦さん方が考へられて、さうして僅かの間に人絹と云ふものが、これ又輸出に於ては世界第一になりました。野口さんの如き私共日常親炙して居りますが獨逸に行つて技師を招聘し、人絹を一生懸命にならつて來られた。この人絹はお師匠さん以上、輸出額の上に於て、世界で一番大きな額をもつて居ると云ふやうな有様であります。雑貨の如きもさうであります。日本の雑貨は、輸出總額の半分以上を占めて居りました。此等は中小工業者や家庭工業者の手に成るもので、我日本の獨特の企業であります。ありますが、これはまだまだ發展すべき將來を有つて居るものと考へるのであります。その他水産でもさうであります。これ又世界第一であります。のみならず日本人の居

る處、世界到る處水産業に於てはその國のものを壓倒して居ります。廣い太平洋を圍む國々、カナダに於て、アメリカに於て、メキシコに於て、支那に於て、比律賓に於て、南洋に於て、總て日本人の居る處、水産は壓倒的であります。又はアルゼンチンの如き南米の涯まで、日本の水産業者は活躍して居るのであります。更に私共の從事して居ります海運、これもです。丁度私共が學校を出まして大阪商船會社にはいりました時に、課長、或は係長さんと云ふのはどう云ふ風であつたかと云ふと、和服を着て角帯を締め、椅子の上に坐つて仕事をして居た事があるのであります。さう云ふやうな状態の海運が、今日は世界の第三位に位して居ります。事實に於ては、アメリカを凌駕して第二位であります。私共がはいりました時は、日本の全體の船腹が、只今商船會社が持つて居ります船よりまだ少なかつたのであります。これが今日は世界の第二位に位して居る。恐らくは斯う云ふ時代が續きましたならば、數年後とは申しませんが、或は諸君の時代に於て、或は諸君の次の時代に於て、英吉利を凌駕して第

一になり得るのではないかと云ふ事を考へて居りますし、又我々はそれを目標として進んで居る次第であります。更に又、七十年前には三千万の人口が今日は一億になつたのであります。さうして所謂大陸政策のもとに百萬の兵は支那大陸に征つて居ります。さうして日本の二倍半の土地をも今既に占領致してゐるやうな次第であります。實に斯ういふ事を考へれば際限はないのであります。これだけ考へましても、日本の勢力の隆々たる事ははつきり分るのであります。一昨日でありましたか、櫻内大藏大臣は議會に於きまして、國民の所得は二百五、六十億である。さうして本年度の豫算を入れまして、今迄の軍事實費は恐らく百六、七十億に達するだらう。けれどもこれは安心して出す事が出来る。又貯蓄は百億に達してゐる。今年に於ては十億、二十億の増加があるだらう。實に日本は餘裕綽々であるといふ事を、大藏大臣は議會で言明されて居ります。私共は大藏大臣の言明に従つてこの言葉を信じて行くことが出来ると思ふのであります。

物資の不足

併しながら一面に於きまして、亦我々は相當深刻な事態を見るのであります。御承知の通り、先づ第一にガソリンが不足になつて、自動車なんか非常に少なくなつて、今日に於ては阪神國道を歩きますと、實に淋しいものであります。かつては小學校の生徒を學校にやるのに、如何にして道路を横切らせるかといふ事を非常に苦心した時代があります。今日は右左を見ずして阪神國道をつき切り得るやうな状態で、タクシーやトラックが非常に少なくなつて參つたのであります。亦御承知の通りマツチが足りなくて諸君も非常にお困りだらうと思ふ。或は木炭が足りない、或は石炭が非常に不足して、電力問題で此の頃は皆困つて居ります。これが反映しまして、議會でも殆んど毎日電力問題につき、深刻な討議が行はれて居るやうな次第であります。のみならず、又總てのものが闇相場の下に取引が行はれて居ります。殆んど例外なしにこれが行は

れて居る事は、一體どう云ふ事から起つて来たのでありませうか。此の現象はどう云ふ現象でありませうか。これは或は政治の失敗もございませう。又或は渇水とか或は何とか、天變地異による結果もございませう。政治の失敗と云へば、茲數年前から矢鱈に革新政策を叫びまして、その結果、國策會社が多く出来まして、國家權力で何でも出来ると云ふ考へでやられた結果もあると思ふのであります。

大陸經營の重大性と國際政局の緊迫

併し乍ら、これをもう少し深く考へて見ますと、我々は今何をして居るのか。我々は支那大陸に於て非常に大きな消耗戦をやつて居ります。戦争をやつて非常に大きな消耗をして居りますのみならず、同時に我々は戦争ばかりでなく、他の國に對しての國防を充實しなければならぬ。これが爲に、生産力の擴充もしなければならぬ、又同時に輸出も振興しなければならぬ、更に只今申し上げた通り、米なり、石炭な

り、マツチナリ、いろいろの物に對し國民生活の安定を圖らなければならぬ。斯う云ふやうな事を一時にやらなければならぬ處に、此の現象の起る原因があるのであります。これは國內の事情でありますが、更に國外について考へますと、成る程、帝國は不介入政策を掲げまして、今日に於ては何れの國の紛争にも介入しないと云ふ事を言つて居りますが、イギリス、アメリカ、獨逸、伊太利、ソ聯、斯う云ふ方面とはどうでありますか。外務大臣は英米諸國とは友交關係を深めて居る。獨伊とは防共協定はこのまゝやつて行く。又ソ聯とは出来るだけの事をして國交を維持して行くといふ事を言つて居られますが、事實に於て、つい此の間起りました淺間丸事件の如き、これをきつかけにイギリスに對する國民の感情は暴露されて居るのであります。又アメリカに對しましては一月二十六日以後無條約となりまして、既に毎日のやうに新聞に出て居りますが、アメリカでは、軍需資材の輸出を日本に對して禁止しやうと云ふ事を上院で毎日討議して居ります。昨日の新聞あたりにはこれが延期されたやうであ

りますが、實に斯う云ふ國々との間が今疎隔して居ります。更に又かつての獨逸との關係は獨ソの提携によつて清算されまして、成る程防共協定はそのまゝありませうが、かつて諸君が獨逸のヒットラー・ユーゲントを大阪にお迎へになりましたやうな氣持にはなつて居りません。又ソ聯との關係もです。ノモンハン附近の國境協定をやる事になりましたが、これも中止であります。成る程外務大臣は全般的に國境協定をやるから、その時どうかなるだらうと云ふお話を居りますが、しかし乍らこれ又何と申しますか、不安な状態であります。しかも國內に於ては、或は親英派、親米派、排英派、排米派、或は親露、親獨、斯う云ふやうな議論が對立して居ります。更に又我々が、百萬の兵を大陸に送り、二年半かゝつて居ります支那事變處理と云ふものも、汪精衛氏を中心にして新政權を樹立する事になつて居りますが、これ又中々難かしいのであります。かりに樹立されても、それを以て支那事變は直ちに終了されるものではないのであります。我々は此の事變處理に對しまして、非常に長期にわた

る考を持たなければならぬと思ふのであります。先程申し上げました通り、日本は非常に恵まれて、非常な飛躍をしました。世紀にわたる偉觀を呈して居るやうな状態でありませんが、又同時に非常な難關に逢着を致して居るのであります。恐らくは、天が此の日本を更に大ならしめんが爲に此の試練を與へて居るものではないか。我々は何としてもそれに耐えなければならぬ、突破しなければならぬのであります。しかして此の解決の鍵を握るものは誰か。無論國民でありますが、我々國民は英米に依る必要もなければ、獨伊に依る必要もなければ、況んやソ聯に依る必要はない。他力に依らずして、自力に依つて難關を突破しなければならぬ。所謂國民一體、一億一心此の時代、此の時局を深く認識しまして、さうして我々は何と云つても國力の充實を圖らなければならぬと思ふのであります。既に二年半にわたりました、相當の國力を消耗致して居ります。遺憾乍ら今日の國力をもつて致しましては、この難關を打開するのには國民の一大決意を必要とするのであります。従つて刻下の急務は萬難を排

して國力の充實に邁進することでありませう。

東亞新秩序の建設と産業人の覺悟

既に兵力戦は峠を越しました。我々はどうしても經濟戦に於て勝たなければなりません。經濟戦の時代が、既にもう到着して居るのであります。即ち此の國力充實を致しますするには、生産力の擴充をしなければならぬ。此の生産力擴充には、我々産業人が死力を盡してやらなければならぬと思ふのであります。日清戦争に於て……これは諸君は歴史でお習ひになつたと思ふのであります……我々は體驗したのであります。日清戦争後に、我が朝野官民共に臥薪嘗膽と云ふ言葉を使ひまして、十年間國民が非常な努力を致したのであります。さうして日露戦争の如き赫々たる戦勝を収めましたのであります。現代の國民は、日清戦争後臥薪嘗膽した以上に緊張して、我々の大使命の達成を圖らなければならぬのではないか。此の大使命と云ふのは所謂

新東亞の秩序建設であります。これは五年や十年では出来ないと思ふのであります。此の使命を達成するだけの十分なる國力の充實を圖る、これは産業人の双肩にかゝつて居ります一大使命と思ふのであります。又産業人のみならず、長期にわたる此の使命は、此の難關は、勢ひこれから産業界に出やうとする諸君の雙肩に擔はなければならぬ。非常に大きな負擔であります。従つて諸君は此の點を十分に考へて卒業されて、産業戦線に突入しなければならぬと思ふのであります。戦線に突入するには、十分なる覺悟をしなければならぬ。若し何等用意なしに、覺悟なしに、たゞ月給取りになればいゝんだ、たゞ仕事をすればいゝんだ、と云ふやうな事では此の大きな渦の中に巻き込まれてしまふのであります。非常な危険であります。諸君が産業界に入るには、確固たる信念をもつて入らなければならぬのであります。赤標をかけて、産業界に突入する覺悟が必要ではないかと思ふのであります。此の信念はどう云ふ信念かと云ふと、一言にして申しますれば、自分の職業を通じて國家に報ゆる、國家に對

して御奉公すると云ふ報國の精神であります。成る程、此の信念以外に健康も必要であります。健康なしには何事も出来ません。智識は無論の事であります。又人格も必要であります。経験も更に必要であり、情操も亦必要であります。しかし乍ら此の一貫した精神を以て、信念を以て國家に報ゆる、所謂報國の精神をもつて進まなければ、此の恵まれたる日本に生れて、日本國民として、時代を擔ふ資格がないと思ふのであります。よく報國とか、忠君とか、愛國とか、云ふやうな事を口に致しますが、たゞ報國と云ひ、忠君と云ひ、愛國と云ふだけでは、先程お話のあつたやうに口頭禪、空念佛ではいけないのであります。よく昔から、忠臣孝子は國が亂れ家が貧した時に現れると云ひますが、さう云ふやうな現れ方ではいけないのであります。平常時に於て、忠臣が現れ孝子が現れなければならぬと思ふのであります。が同時に、此の難關此の非常時に於て、國民全體が忠臣であり孝子でなければならぬと思ふのであります。

此の日本朝野が總て一體となつてやらなければならぬ。産業報國の精神は諸君が十分體得し、此の日本をして更に十歩、更に百歩、更に千歩前進せしめる指導原理としまして、産業界に燃え上つた此の日本精神の發揚をお互に企圖しなければならぬと思ふのであります。

職分を通じての國家への奉公

で此の産業報國運動の精神は單に精神運動として、終始すべきものではないと思ふのであります。又難しい理論から發したとも考へられませんが、先程も學長の仰つた様に、これは既にロータリーの精神を以て十分に言い盡されて居るのであります。又かつて二宮尊徳翁の如きも、分に應じて報恩の誠を致すべき事を既に説いて居られるのであります。従つて難しい言葉で言へば指導原理であります。これは何等新しい事ではなく、日本には當然存在すべき事であるのであります。産業報國精神と申しま

すればこれは勤勞報國であります。職業報國であります。職業を通じて、各自が國家に盡すと言ふ事であるのでありまして、職業に従事致しますものは、單に職業によつて自分の生活を營むとか、或は自分の利益を得やうとか云ふやうな事のみを目的と致し、しまするのでなくして、忠實にその職業に對しまして、自己の分を盡し、その事業に協力をしまして、これに依つて國家のためになる、又畏れ多い事でもあります。陛下の御爲に盡すと云ふ意味であります。只今迄やゝもすれば、産業と云ふものは自分の利益の爲、自分の生活の爲であると云ふやうな考が有られたのでありますが、これは恐らくは外國より來た思想とも思はれます。尤も此考へ方はかつては、我々が素町人と云つて居りました封建時代に於ける町人の考へ方ではなかつたであります。か。今日の日本國民は總べてが、陛下の赤子である。日本國民は、陛下の御下に此の日本を擔つて居るものであります。従つて日本の國民たるものはあらゆる職業、あらゆる方面に於て單に自分の生活を營み、自分の利益のみを企圖する事なく、自

分は日本國の構成分子である。此の意味に於きまして自分の行動は即ち國家の行動であると言ふやうな考へが即ち産業報國の精神であると私は解釋して居るのであります。従つてその職業が大きな仕事であらうと、尊い仕事であらうと、又小さい仕事であらうと、苟くもこの世の中に有用であり、有益であると云ふ職業でありますれば、いかなる職業であつても差支へない。又自分の位置が高からうと、低からうと、さう云ふ事は差支へないのであります。

東京市電從業員の産業報國精神

私は二三日前に産業報國運動の雑誌を読みましたが、一昨年産業報國聯盟が結成されました、一番先に出來たのが東京市電の産業報國會であつたと承知致して居ります。この東京市電の産業報國會に於て、此の職業報國精神、産業報國精神が從業員に鼓吹された爲めに、かつては東京市電と云ふものは、或る意味に於ける標本となつて

一八
居りましたが、産業報國運動の精神が従業員の頭に入りまして、その後には、東京市電の従業員の客に対する態度がすっかり變つて、非常に明朗化されたと言ふ話を私は讀みました。これは單に東京市電のみではなく、此の産業報國會が現在、一萬五千出來て居ると云ふ事であり、その會員が二百五十萬とか云ふのであります。此の精神が各産業人に吹き込まれた曉には、一大革新が行はれるのではないかと想ひます。

ある女中さんの話

甚だ卑近な例であります、私の友人が和歌山の或る宿屋に泊つたのであります。その宿屋の女中は、餘り今迄客に對して待遇をよくしなかつた。しかし随分古くからその宿屋に泊つて居て、行きつけだから泊つて居るのであります、ある時その宿屋に行つた處が、非常に女中のサービスがよい。それで非常に氣持がよかつたので、大

阪へ行つてから仕事が捗つた。それで歸りにその宿屋へ行つて、女中にどうしてお前は態度を變へたかと云ふ事を訊いたら、實は自分の主人がお客さんに對しては出来るだけ、おつとめをしなければならぬ、サービスをしなければならぬ。サービスと云ふ事は何かわかりませんが、さう云ふ事を申されたので、自分はその言葉に従つてやつて居ります、と答へたのであります。これでありませう。成る程その女中は六ヶ敷い産業報國精神を理解したのではないのであります。しかし乍らお客さんに向つて十分サービスをしなければならぬと云ふ主人の命令をきいて、お客を大事にした。それが爲にお客さんが、大阪に来て自分の活動が非常によく行つた。これは報國會のお蔭でも何でもないのであります、しかし斯う云ふ心構へが必要であります。私の方の船でも、若し船のボーイが乗られたお客さんに對して、待遇が悪ければ非常に不快であり、待遇がよければ非常に愉快になつて、そのお客様は氣持がよい爲に、自分の仕事がよく出來ると云ふやうな結果が齎されました。曉に於ては、その小さなボー

二〇
イの行動が非常に大きな結果を生むのではありませんか。此の點は海外に於て仕事を
する時に最もよく分るのであります。海外はどうしても外國人相手であります。従つ
て小さな事をしますものでも、これをうまくすると云ふ事が、直ぐ國の利益に反映す
ると云ふ考を持つて參るのであります。單に此の考が海外に於てのみ存在すべ
きものではない。内地に於ても當然これを行はなければならぬ。

一人の一擧手一投足が國家の盛衰に關係する

もし總ての産業人が、此の考を持ちまして自分の一擧手一投足は直ちに産業全
般に影響し、延いては國家の利益に影響すると云ふやうな事を考へました時は、自分
の一擧手一投足は苟くもする事が出来ないであります。三、四日前に或る人が議會
で石炭問題を論じたのであります。その時に、或は石炭に對して、獎勵金を出すと云ふ
或は石炭の値段を上げるとか、色々な方法が論じられた。何としても今日石炭を増産

しなければならぬ。これは焦眉の急であり、従つてあらゆる人が、あらゆる議員が
色々考へて居りますし、その考が二、三議員の口を通して言はれた。その中の一人
が斯ういふ事を言つたのであります。成程金を出すのはいいだらう。獎勵金を出すの
もいゝだらう。値段を上げるのもいゝだらう。併し乍ら今日の石炭は金では掘れな
い。私にはいい案がある。その案は坑夫が一月のうち十八日か十九日働いてゐる
が、かつては廿四、五日働いたのである。色々な原因から今日は十八、九日しか働い
て居らない。せめてこれを二日でいゝから多く働かしたら、六年百萬噸の石炭の増産
は易々たるものであるといふ事を言はれたのであります。一人一人の坑夫が一月のう
ちに十八、九日働いたのを僅か二日延せば、これが集積致しますといふと、今日本
で大問題になつて居ります石炭が増産しうるのであります。今申しあげたやうに、各
坑夫が二日余計働けば非常に大きな結果になるのであります。これを反對にしまし
て、産業人の中にあべこべの方向に行くものが出来たとすれば、これは國家に非常な

不利益な結果を及ぼすのであります。自分の體に譬へましても、小指の先位何でもない、盲腸位なんでもないやうでありますが、しかし乍ら小指の先に腫物が出来たらどうでありませう。盲腸に何か入つたらどうでありませう。私が申上げるまでもなく、その人の全體の活動といふものが止まるのであります。この自分自身は、非常に小さく考へて居りましても、その結果たるや非常に大きなものである。それが有機的に結合されてゐる國家、有機的に構成されてゐる國家に於いて、その影響は、非常に大であるといふことを御承知願ひたいのであります。

職場も戦場だ

一體この産業報國運動といふものは、只今申上げた通り指導精神を從來の個人本位から國家本位に移したのであります。陛下の赤子として、先程申上げたやうに赤襷をかけて戦場に出ます時は、自分の身命を抛つて國家の爲に、陛下の御爲に例外なしに

皆出て居るのであります。併し乍らこの人が歸りまして、職業戦線に立つ時に、自分の利益のみを考へて人に迷惑を掛けても構はない、法律を犯してもかまはない、闇取引をしてもかまはないといふことが出来たか。兵隊になつて戦争に行つたから、國家の爲に盡す。兵隊から歸つて来たから、國家の爲に盡さないで、自分の利益のみを考へてもよい、といふことがどうして同一人として出来るでありませうか。斯ういふ現象はたまにはあるのであります。況んや戦場にお召を受けないで、この内地に留まり、銃後に居つて自分の職業に従事し得る者が、單に自己の利益のみを計り、社會に非常な迷惑をかけ、或は法律を犯すといふことは、尠くとも日本國民としては許すべからざることではないかと思ふのであります。明治天皇が御製に御詠みになつたやうに、戦の場にあるもあらぬも、皆一様に日本人であります。日本國民として國家の爲に御奉公を忘れてはならぬと思ふのであります。私共のことを申して甚だ恐縮であります。私共の船が今回の戦争によつて多數御用船になつたのであります。こ

の御用船に乗つて参りました乗組員が戦地に於て、即ち長江に於て、或は杭州灣に於て、色々の方面に働いて居りますが、そこで働いた乗組員がどういふ心理状態になりましたか。彼等は同胞が將兵として、身命を賭してあれ程までに支那で働いて居る。私共は如何なる事でも致します。あれを見て日本國民として到底黙止することは出来ません。私共如何なる仕事でも致します。斯ういふ感じを持つて歸つて参るのであります。御用船に勤務した者は、殆ど例外なしに規則は正しくなる、仕事に對しては熱心になるといふ感化を受けて参つたのであります。私は先日「病院船」といふ小さな冊子を見たのであります。これは御承知の通り、赤十字社の大嶽といふ看護婦が病院船付き看護婦として、戦地に参りまして、その體験談を日記的に書いたものであります。實は赤十字社の總裁から言はれまして、私も讀んだのであります。一女子が戦地に行つて書いたものが、如何に日本人の心理状態を如實に表現してゐるか、又女子と雖も如何に報國の精神に燃えてゐるかといふことを知り得るのであります。

す。

海運報國

更に一例を挙げますと、事變に這入りましてから……これ又想像をもつて申上げるのではない。自分の目撃した事實を申し上げるのであります……日本の船會社中最も有力な七社が、一昨々年事變が勃發した後すぐ集りまして、今度この事變になつた爲に多くの船が要る。或は御用船、或は軍需資材の輸送船として入用なので船腹の不足を來す。このまゝにしたら備船料の暴騰を來し、從て運賃が沸騰してそれが爲に多くの國幣を費すのみならず、輸送の圓滑を期することが出來ないので、それを防ぐ爲に最高運賃を決めたものであります。これ以上高い運賃を我々は取らないといふことを決めたのであります。この七社が決めますれば他の會社は這入りませんが、大體市場を支配することが出來るといふ觀念の下に、最高運賃を決めてこれを極力實行

したのでありますが、この事をロンドンにおける「フェア、ブレイ」といふ數十年或は百年以上の海運界の權威ある雜誌が評して曰く、日本人といふものは不思議なものだ。我々は常に最低運賃を決め、これより下がらないことを決めて居るのだけれども、日本の船會社が最高運賃を決めてこれを嚴守するといふやうな事を申し合はせたのは何か少し違つてゐるのではないか。日本人は變なことをするものだといふやうな意味の事を書いてあつたのであります。これは外國人には分りません。この精神は、我が日本の國體を諒解しないからさういふ疑惑の念が出て參るのであります。恐らくは、東亞新秩序の建設或は、八紘一字といふやうな事をあらゆる方面で、口を酷つぱく外國に呼びかけても、外國では分りません。米國の如きは、そんな事がどうしても分らないのであります。米國の支那に於ける權益は、イギリスほど持つて居りません。従つて支那に對してあれ程八釜しく云ふのは、日本の八紘一字の精神、或は新秩序の建設といふことが分らないからであります。丁度只今申し上げたやうに、ロンドンの

「フェア、ブレイ」が日本の船會社がやつた事が如何しても分らない。氣狂ひぢみた事をするんぢやないかといふやうな事を言ふのと、同じ事ではないかと思ふのであります。

併し乍ら、流石にムツソリニーや、ヒットラーは偉い。よく日本では全體主義を獨乙から學んだとか、伊太利を眞似たとか言ひますが、私が兩人に逢つた人から聞きましたのでありますが、ヒットラーなり、ムツソリニーが何とかして日本精神をとり入れ、さうして自分の國民を指導したいといふことを考へて居るさうであります。此點はムツソリニーやヒットラーにとり非常に羨ましいのではないか。皇統連綿として、二千六百年に亘つて變らない皇室を戴いて居ります國民が、一億一心一體となつて、皇運を扶翼し奉るこの精神は、新しくこの社會を固めて行かうと思ふ支配者の頭に非常に羨ましく感ぜらるゝのではないか。我々獨乙や伊太利から全體主義とか、或は彼等のやつてゐる事を眞似る必要は無いのであります。彼等こそ我が國體が非常に羨

ましいといふ事を洩したといふ事を聞いて、これあるかなと思ふのであります。

産業報國精神の實踐

結論と致しまして、最早むしろ申し上げる必要は無いのであります。我々産業人は非常に重大な責任を持つて居ります。而も立派な國に我々は生れたのであります。此の立派な國體、此の立派な國を更に更に大きくし、さうして大理想を實現するためには、益々國力の充實をしなければならぬ。國力の充實をするには生産の擴充が必要であります。それには我々産業人は、假令直接にその事に従事してゐる者で無くても、亦如何なる地位に居る者であつても、如何なる仕事をしてゐる者であつても、各自が其の本分に對して、ベストを盡し一體となつて働きました。曉に於ては、日本は生々潑刺として更に數歩、數十歩、數千歩を前進し得るのではないかと思ふのであります。この點に於て産業報國精神は我々産業人が何としても體得しなければならぬの

であります。是非とも此の精神を實行致しまして、此の日本の難關に處し、此の大事業を我々現代の産業人、及び我々に續いて來るべき産業人である諸君と共に成し遂げたいと思ふのであります。私はこれだけ申し上げまして、今後諸君がそれぞれ社會にお立ちになつて、此の精神を以て十分國家の爲に御活躍あらんことを念ずる次第であります。

産業報國運動要綱 の發行に就いて

曩に厚生省勞働局に於ては産業報國運動の理論的指導書として、「産業報國運動要綱」を發行したのであるが、今回産業報國聯盟に於ては産業報國會運営の實踐的指導書として、「産業報國會の事業」を發行するに至つた。兩書は相俟つて姉妹篇をなし、産業報國運動指導者の必携の書である。敢て一讀を乞ふ次第である。

産業報國聯盟 産業報國運動要綱

目次

第一章 概説

第一節 産業報國運動の歴史的必然性

一 日本精神の昂揚

二 戦時經濟體制の整備強化

第二節 産業報國運動の發展經過

一 勞資關係の指導精神の轉換

二 産業勞働政策の進展

第二章 産業報國運動の基礎理論

第一節 指導精神

第二節 組織理論

第三節 産業報國運動の使命と所謂勞働問題

第三章 産業報國會

第一節 産業報國會の本質

第二節 産業報國會の事業

第三節 産業報國會の機構

第四章 産業報國聯合會

第一節 聯合會設置の目的

第二節 聯合會の機構

第三節 聯合會の事業
附録 産業報國運動關係通牒

定價一部十五錢(送料共)百部以上御注文の場合は一部十二錢。但し送料實費は御注文者の負擔の事

産業報國叢書
第八輯 産業報國會の事業
——運營指針並に其の實例——

目次

第一篇 産業報國會の事業運營に關する指針

第一章 事業運營指針

- 一 産業報國會の會費
 - 二 産業の種類、規模の大小等に依る事業運營上の差異
 - 三 本社の産業報國會と支社分工場の産業報國會
 - 四 産業報國會の役員會及び懇談會
 - 五 懇談會の運營に就て
- 第二章 産業報國會の事業要綱
- 一 産業報國精神發揚に關するもの

- 二 生活刷新等非常時國策への協力に關するもの
- 三 作業能率増進に關するもの
- 四 保健厚生に關するもの

第二篇 産業報國會事業に關する事例

- 一、中小企業産業報國會の事例
 - 一 株式會社○○○製造所産業報國會
 - 二 ○○製作所産業報國會の活動狀況
 - 二、大企業産業報國會の事例
 - 一 ○○電氣株式會社産業報國會の懇談會運營事例
 - 二 ○○工業産業報國會の實狀
 - 三 ○○紡績株式會社産業報國會の運營事例
 - 四 ○○ガス株式會社産業報國會
 - 五 ○○市電氣局産業報國會
 - 六 ○○鐵山株式會社産業報國會
- 註 第一篇全文は本聯盟専門委員特別委員會の答申を基礎にしたものである。
- 定價一部三十錢(送料共)百部以上の御注文の場合

合は一部二十五錢。但し送料實費は御注文者の負擔のこと

合は一部二十五錢。但し送料實費は御注文者の負擔のこと

産業報國聯盟出版物一覽表

- 産業報國 (産業報國聯盟機關誌) (月刊・普通新聞紙の四折大廿四頁・一部五錢) 産業報國運動に關係ある凡ゆる記事を網羅掲載して報道す。産業人特に産業報國會役員の必讀の新聞
- 産業報國聯盟要覽 (菊判二八頁・希望者に無代頒布)
- 第一輯 産業報國運動に就て (菊判五〇頁・定價拾錢) 産業報國運動の精神及び趣旨の解説並に成立經過の報告書
- 第二輯 産業報國會規約事例集 (菊判八一頁・定價貳拾錢) 今後設立される産業報國會の規約作製上の資料として、運動初期に於て結成された産業報國會規約十八を例示し、併せて作製上の注意事項を記述す。

- 第三輯 労働者と産業報國運動 (菊判三五頁・定價拾錢) 労働者諸君に産業報國精神の何たるかを解りよく解説したもので就後産業に携はる労働者諸君必讀の珠玉篇
- 第四輯 産業報國會に就て勞務管理者の心構へ (菊判三七頁・定價拾五錢) 産業報國會懇談會を如何に運營すべきか、勞務管理者は從業員に對し如何なる態度を以て臨むべきか、實際現場に居て多年辛苦された勞務管理權威者の體驗談。勞務係及び産業報國會役員必携の書
- 第五輯 業種別産業報國會規約事例集 (菊判四一二頁・定價一圓) 全國産業報國會の規約中代表的なもの六十を選び、業種別に整理したもの。今後の規約作成乃至改正の好資料
- 第六輯 産業報國會に於ける懇談會の運營 (附) 事業費の徴收狀況 (菊判四八頁・定價貳拾錢)

終